（別添資料１）

事業所名	すみれ沼津教室	支援プログラム（参考様式）	作成日	R8 年	2 月	26 日

法人（事業所）理念	・職員の笑顔が子どもとその家族の笑顔を作る ・笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する										
支援方針	・子ども達が安心して笑顔で過ごせる居場所となり、集団で過ごすことでコミュニケーション力を学び、相手のことを考え思いやる気持ちが芽生えるような支援を行う。										
営業時間	平日 土祝長期休み	9 9	時	30 00	分から	18 18	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	●基本的生活スキルを楽しく身に着けよう！！● ・自分の力で身支度出来るような声掛けをしたり、見守り、子ども達が不安なく過ごせるような環境設定など行う。また、それらを通じて自分で出来るという自信を身につけていく。　＝　自己肯定感を高めるきっかけ作りを行う （手洗いをする、靴をそろえてしまう、上着をたたむ、ロッカーに鞄を整えてしまう、おもちゃを片づけるなど１つ１つを丁寧に行えるような環境をつくる） ・「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」という言葉を大切にし自然と言えるような支援を行う。 ・すみれでの過ごし方を視覚的に流れがわかるように絵カードなどで伝え、また、片付けやはじまりの会が何時から行うかわかるような声掛けなど環境設定を行う。
	運動・感覚	**●すみれの集団課題、１つ１つのことを楽しく学ぼう！！●** ・遊びや集団課題を通して、視覚・聴覚・触覚・嗅覚などの感覚を十分に感じられるような体験を積極的に行う。 ・微細運動（手先を使った細かい動き・字を書いたり、絵を書いたり、積み木やビーズ遊びなど）や粗大運動（立ったり座ったり・ボール遊び・走る・歩くなど筋力やバランスを養う）を一人一人アセスメントを行い、子ども達に合った支援を行う。 ・スライムや工作などを通じて想像力や創造力、また空間認識などを身につけられる支援を行う。 ・椅子に座る姿勢（先生の話を聞くとき、遊びなどで順番を待つとき、ご飯やおやつを食べる時など）、背筋を伸ばす、足をぶらつかせない、ガタガタ揺らさないなどルールを伝え、子ども達が意識できるような声掛けを行う。
	認知・行動	**●自分の考えを相手に伝える大切さを学んでいこう！！●** ・日にち・時間・１日のスケジュール（始まりの会などで伝える）を理解できるように掲示したり、声掛けをする。 ・気持ちの切り替えができるような声掛けや環境設定を行う。（時間を伝える。片付けができない時は籠を用意する。部屋を変える。おもちゃなど見えないよう布を掛けるなど） ・いろんな経験、体験を通じて自分で出来るということを１つでも多く身につけられるような支援を行い、その力を伸ばしていく。 （そのためにルール理解、反省、人の話を聞く、約束の大切さも同時に身につけていく） ・その場にあった声の大きさや行動ができるような支援を行う。
	言語 コミュニケーション	**●伝え合う喜び・大切さを学んでいこう！！●** ・基本的な挨拶（おはよう・こんにちは・ありがとう・ごめんなさい）から周りの人とコミュニケーションがスムーズになる事を伝え、挨拶が自然と言えるような支援を行う。 ・自分の考えや気持ちを素直に言えるような環境を作り、思っていることを言えない時は職員が代弁し表現方法を伝える支援を行う。 （わからないときはわからない・SOSを素直に言えるような雰囲気づくり。自分の気持ちや考えを発表できる時間をつくるなど） ・自分の気持ちを言葉だけではなく、絵カードや紙に書いて伝えるなどコミュニケーション手段の幅を広げるようにする。 ・汚いことば（死ね・バカなど）、相手が傷つく言葉をどうして使ってはいけないかなど、職員と子ども達で考える時間を多く作るようにする。
	人間関係 社会性	**●気持ちのコントロール方法を学んでいこう！！●** ・すみれで過ごす時やすみれ以外で過ごす時、それ以外でもルール、約束があることを伝え、そのルールが理解できるような時間をつくる。 （ルール、約束事を子ども達と話し合う機会を設定する。） ・自己コントロール（怒り・喜びなど）が出来るように声掛けを行う。 ・自分以外相手にも気持ちがあることを意識しながら過ごせるような支援を行う。 ・好き、嫌いの気持ちの伝え方を一緒に考えられる環境を作る。 ・自分と友達・周りの人との適切な距離感を伝えていく。また、友達関係、恋愛感情の気持ちのあり方なども一緒に考えていける環境を作る。 ・

家族支援	・連絡帳、送迎時にすみれでの様子をお話し、情報共有する。 ・面談や保護者会、参観できる場を作り、不安や困りごとへの相談支援を行う。	移行支援	・学校や併用先など情報交換ツールとして積極的にケース会議を行い、子ども達に寄り添った支援を行える環境をつくり支援する。
地域支援・地域連携	・地域イベントなどに参加し、地域との交流の機会を作り支援する。	職員の質の向上	・職員そろってのミーティング　・管理者会議の実施 ・研修会実施　・BCP訓練の話し合い ・虐待研修の参加

主な行事等	・季節イベント（七五三、クリスマス会、芋ほり、夏祭り、誕生日会、節分、バレンタイン、ひな祭り、ハロウィンなど） ・土曜日、長期休み、祝日の施設外活動参加（収穫体験など）。 ・3施設（沼津・南一色・下土狩）交流。ミニ運動会など。